

Cisco ONS 15454 の ML シリーズ カードの交換

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トポロジ](#)

[1 枚の ML そう 書 カードを取り替えて下さい](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ONS 15454 プラットフォーム用の Cisco Multi-Layer (ML) シリーズ カードを交換する手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454
- Cisco ONS 15454 ML シリーズ イーサネット カード
- Cisco IOS[®] ソフトウェア
- ブリッジングと IP ルーティング
- Packet-over-SONET (POS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ONS 15454 Cisco ONS リリース 4.6.2 を実行する
- ML (ONS 4.6.2 リリースの一部として組み込まれる) その実行 Cisco IOSソフトウェア 12.1(20)EO1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

トポロジ

この資料は 4 つの ONS 15454 ノードとラボ の セットアップを、即ち、スタジオ ノード 1、スタジオ ノード 2、スタジオ ノード 3 およびスタジオ ノード 4 使用します ([図を 1](#)) 参照して下さい。この 4 つのノードは 1 OC48 単方向パス スイッチ型リング (UPSR) を形成します。

注: 知識の容易さに関しては、この資料の他は ノード 1、ノード 2、ノード 3 およびノード 4.としてこれらのノードを示します。

図 1: トポロジ

各ノードにインストールされる 1 枚の ML 1000 カードがあります。この 4 ML カード形式 1 Resilient Packet Ring (RPR)。 [図 2](#) 設定を表示します。

図 2 – RPR リング型トポロジー

1 枚の ML そう 書 カードを取り替えて下さい

このプロシージャは新しいカードとノード 2 の ML そう 書 カードを取り替える方法を説明します ([図の矢印 A を 2](#)) 参照して下さい。2 隣接した ML カードの 2 つの POS インターフェイスは次のとおりです:

- node1 の POS 0 ([図の矢印 C を 2](#)) 参照して下さい。
- ノード 3 の POS 1 ([図の矢印 B を 2](#)) 参照して下さい。

このプロシージャは最低限に潜在的なデータ損失を保つ必要があります。

ノード 2 の ML そう 書 カードを取り替えるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ノード 2 の ML カードにログインして下さい。
2. 特権EXECモードを開始して下さい。
3. 現在の IOS コンフィギュレーションを保存する `copy run start` コマンドを発行して下さい。
4. テキストエディタ形式でコンフィギュレーション ファイルをバックアップとして保存して下さい。また、ML カードビューで、現在のコンフィギュレーションを IOS > IOS Startup Config > TCC > Local の順に選択し、バックアップして下さい。リロードが障害回復を援助することができるようにこのファイルを使用できます。
5. ノード 1 の ML カードにログインして下さい。
6. 特権EXECモードを開始して下さい。
7. POS 0 インターフェイスをシャットダウンして下さい。コマンドはここにあります:

```
int pos 0
shutdown
```
8. ノード 3 の ML カードにログインして下さい。
9. 特権EXECモードを開始して下さい。
10. POS 1 インターフェイスをシャットダウンして下さい。コマンドはここにあります:

```
int pos 1
shutdown
```
11. ノード 2 の ML カードを引き出して下さい ([図の矢印 A を 2](#)) 参照して下さい。
12. ノード 2 の置換 ML カードを挿入して下さい。

13. アクティブになるために新しい ML カードを待って下さい。
14. IOSコンフィギュレーションを確認するために新しい ML カードにログインして下さい。
TCC は ML カードに現在の IOSコンフィギュレーションをダウンロードする必要があります。
15. ノード 1.の ML カードにログインして下さい。
16. 特権EXECモードを開始して下さい。
17. POS 0 インターフェイスを開いて下さい。 コマンドはここにあります:`int pos 0`
`no shutdown`
18. ノード 3.の ML カードにログインして下さい。
19. 特権EXECモードを開始して下さい。
20. POS 1 インターフェイスを開いて下さい。 コマンドはここにあります:`int pos 1`
`no shutdown`
21. 各 ML カードのこれらのステップを実行して下さい:POS ステータスをチェックし、プロトコルが稼働しているかどうか確かめる `show ip interface brief` コマンドを発行して下さい。 POS インターフェイスのトラフィックおよびエラーカウントをチェックするために `show interface POS 0` コマンドか `show interface POS 1` コマンドを発行して下さい。カウンタをクリアする `clear counters` コマンドを発行して下さい。 エラーカウンタが増加にあるかどうか確かめる、再度、二度 `clear counters` コマンドをまたは 3倍に発行して下さい。 IF エラーは増加に (たとえば、CRC)、`show controller pos 0` および `show controller pos 1` コマンドを発行する必要がありエラーがあるかどうか点検しますあります。NEWPTR カウンタが増加にある場合、タイミングをチェックして下さい。 BIP(B3) カウンタが増加にある場合、これらのステップを完了して下さい:アクティブな XC カードをリセットして下さい。問題が持続する場合 ML をリセットして下さい。問題が更に持続する場合 ML を再置して下さい。最終的には問題がそれでも持続したら、ML を取り替えて下さい。ML を取り替えた後でさえも問題が発生することを残っていたら、Cisco TAC のサービス リクエストを開いて下さい。RPR のためのすべての回線がアクティブであるかどうか確認する `show ip interface brief` コマンドを発行して下さい。あらゆるアラームがあるように確認する提示 `ons alarm` コマンドを発行して下さい。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)